

部下の話「熱く聞いて」

経営塾塾長 大坂さん、大垣市で講演



「労働環境を良くするため、心を込めて部下と付き合っ
て人間関係を構築すべき」と語る大坂靖彦さん。大垣
市万石、大垣フォーラムホテル

大垣西濃信用金庫の取引
先企業などをつくる「だ
いしん経営者懇話会」主催
の講演会が16日夕、大垣
市万石の大垣フォーラムホ
テルで開かれ、経営塾「大
坂塾」塾長で経営コンサル
タントの大坂靖彦さん
(75)が「やめたくない会社
のつくり方」と題して語っ
た。

会場には西濃地域の企業

経営者ら約350人が集ま
った。大坂さんは家業だっ
た香川県の家電店を社員8
00人、年商339億円の
会社で育てた経験から、経
営者はさまざまな「兆し」
を見つけ出すことが必要だ
と説いた。一方で、従業員
が会社を辞めるのは「本音
は経営者や上司に対する不
信感だ」と指摘。「熱く語
るより、熱く聞け」と語り、

部下の話をしつかりと聞き
入れる上司の養成を提案。
「上司のあり方を変えてい
くのは、1円も必要としな
い経営改善。社員の労働環
境を変えれば変えるほど会
社の利益も上がっていく」
とエールを送った。

立った政策を考える「こと
が業績を伸ばす秘訣だと繰
り返し、「堂々とサボらせ
る『サボリの制度化』」に
よるモチベーション向上策
や、期間限定で社員に一つ
上のポストを与える人材育
成方法などを提言してい
た。

(古家政徳)